

2年次で「CSトレーニング」を実施しました。

◆今号の記事は、2年次主任の岡野先生が書いてくれました。

5月21日(月)、2年次生は一齐にSSHの講座である「CSトレーニング」(コミュニケーションスキル・トレーニング)を受講しました。講師は、本校5年次国語担当の石川先生でした。石川先生は、高校・大学時代に放送部で活躍され、全国大会のステージにも登壇された先生です。

伝わる話し方のポイントや、発声・滑舌練習など、私も新人アナウンサーになったような気分で受講しました。話すときの姿勢や表情が、話し手の印象を大きく変えることや、かまないためにはどうしたらよいかなど、具体的な説明ばかりで、生徒のメモをとる手も止まりません。受講した生徒の振り返りを下に掲載します。

- ★話し方のコツについて話されているときも、先生はそのコツを実践しながらやっていて、手本がみられて解りやすかった。また、身振り手振りを使っていて聞いていて楽しかった。
- ★今年もいろいろところで発表する機会があると思うので、ハキハキと笑顔で話すことを大切にしたい。さらに、原稿をあまり意識せずに聞く人に向かって話したい。
- ★今までは、話す内容ばかり考えていて、プレゼンの際の話し方で伝わり方が変わることを初めて知った。これからは今日学んだポーズやテンポに気を付けて話したい。
- ★「話す」というのは当たり前のことなのであまり意識がなかったが、「伝わる」話し方について学んで、これからはもっと人の心をつかんで伝えられるようにしたいと思った。
- ★今回学んだことは、とにかく相手に伝えようとする意志なんだと思った。石川先生を見てみると、とても引き込まれていき、伝えようという思いが伝わり、すごいなと思った。



◆中学校・高校では、「日本語の4技能」のひとつ「話す」ことについて、具体的に学ぶ機会が少ないと思います。このCSトレーニングは、とてもいい取組だと思います。